

報道関係者各位



AIRMOBILITY

2021年9月10日

エアモビリティ株式会社

## 三重県「クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業」採択のお知らせ

### ～「空飛ぶクルマ」のナビゲーションシステム「AirNavi」の実証実験～

「空飛ぶクルマ」のプラットフォーム事業を手掛けるエアモビリティ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長&CEO：浅井 尚）は、三重県「クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業」第1期の公募において、『「空飛ぶクルマ」のナビゲーションシステム「AirNavi」のドローンを使用した実証実験』が事業採択されました。

本実証実験は、次世代モビリティの中心となる「空飛ぶクルマ」の社会実装を目指し、実際の運航に不可欠な空のナビゲーションシステム「AirNavi」について、安全かつ簡単に航行するために必要な機能などの実証を行い、その有効性を三重県にてドローンを使用して検証するものです。

#### ・空のナビゲーションシステム「AirNavi」（イメージ）



#### 【背景と目的】

三重県、エアモビリティ株式会社と東京海上日動火災保険株式会社の三者は、2020年11月4日に『三重県内における「空飛ぶクルマ」の実証実験、実用化に向けて連携する包括協定』を締結しております。本実証実験を踏まえ、2022年以降には三重県で「空飛ぶクルマ」の有人飛行をいち早く実現させ、「空飛ぶクルマ」の社会実装につなげてまいります。

### 【本実証実験のシステム概要】

AirMobility Service Collaboration Platform (ASCP) は、「空飛ぶクルマ」が安全に運航するためのインフラプラットフォームであり、「AirNavi」は、ASCP の主要機能の一部です。

・ ASCP イメージ画像



「AirNavi」では、利用者が目的地を入力し、ASCP 上で気象データや「空飛ぶクルマ」のバーティポート（離着陸場）情報など諸条件を鑑みて最適な飛行ルートを算出します。ルート設定後、そのルートにおけるリスクを評点化し、利用者が当該飛行に手配されている保険内容を確認したり、必要に応じて最適な保険を自らキャッシュレスで購入したりすることで、安全な運航をサポートすることを目指します。今回の実証事業では、気象情報や地図データ、バーティポート情報、リスクアセスメント情報などのデータ連携、各種機器を各参加企業様にご提供頂き、「AirNavi」の有用性について共同で検証してまいります。

・空のナビゲーションシステム「AirNavi」飛行までのルート設定（イメージ）



■本実証事業参画企業様（順不同）

- ・三重県
- ・東京海上日動火災保険株式会社
- ・ダイナミックマップ基盤株式会社
- ・株式会社ウェザーニューズ
- ・株式会社ゼンリン
- ・三菱電機株式会社
- ・KDDI 株式会社
- ・株式会社長大
- ・イームズロボティクス株式会社
- ・マゼランシステムズジャパン株式会社

【関連サイト】

クリ“ミエ”イティブ実証サポート事業

URL : <https://cre-mie-tive.jp/oi-details/index>

【会社概要】

会社名：エアモビリティ株式会社

代表者：代表取締役社長&CEO 浅井 尚

所在地：東京都新宿区舟町 7-40 ACN 四谷三丁目ビル 2F

URL : <https://www.airmobility.co.jp/>

【お問い合わせ先】

エアモビリティ株式会社 元井

TEL: 03-6273-1288 / FAX: 03-6273-1289 / E-mail: [info@airmobility.co.jp](mailto:info@airmobility.co.jp)